

海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2022/01/10 ～2022/03/04)

1. 勉学の状況

1月14日に Faculty of Science and Engineering のオリエンテーションがありました。私の学部は1セメスターが2つの study period に分かれていて、それぞれ2つずつ授業を取っています。入学の申請時点で登録していた授業から変更できることがわかったため、いくつか変更しました。今は、Introduction to Biosensor Technology と Analog Filters を受講しており、それぞれ週に2.3回授業がありました。今週で2つとも授業が終わります。3月後半からまた新しい授業が始まります。また、これらとは別で、1セメスターを通して週1回行われる、スウェーデン語の授業が2月中旬から始まりました。

公用語はスウェーデン語ですが、スウェーデン人は同じくらい英語も話せます。授業も留学生が一人でもいれば英語で授業が行われ、グループミーティングでもみんな英語で話してくれます。

他の留学生の話を見ると、オンラインで行われている授業もあるようですが、私が取っている授業は全て対面で行われています。

空いた時間は大学の図書館で勉強をすることもよくあります。日本の図書館は静かにしなければいけない印象が強いですが、ここの図書館はグループミーティングやランチにも使われており、常に話し声が聞こえます。しかし、多くの人が机に向かって作業をしているため、家で勉強できない私にとってはとても良い場所です。

2. 生活の状況

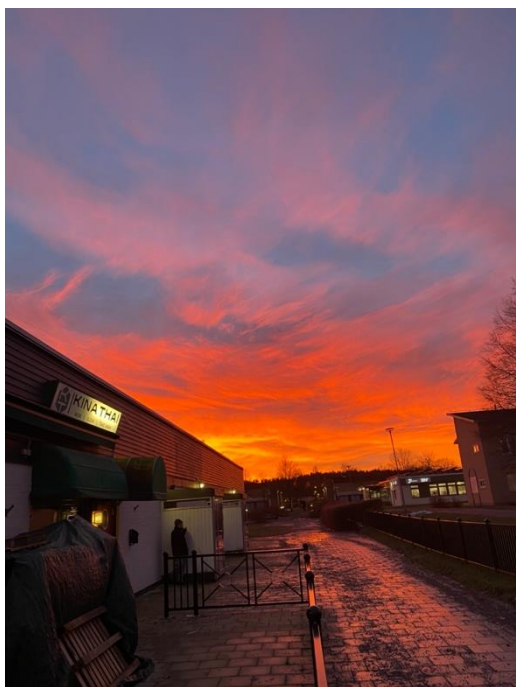
1月10日は空港近くのホテルに一泊して、11日の Arrival Day という大学が定めている公式の到着日に大学に着き、寮に入りました。私は、部屋の中にキッチンが備わっているタイプのシングルルームに住んでいます。共有スペースがないため、自由に料理できたり、綺麗な状態を保てたりする面ではとても居心地が良いですが、コリドーよりも家賃が高いことと、コリドーメイトと話したりご飯を食べたりする機会がないことから、4月からコリドーに引っ越すことを考えています。

オリエンテーションまでの数日間で IKEA に行って布団や枕など生活に必要なものを買い足したり、SIM のデータ、自転車、Wi-Fi ルーターを購入したりしました。

コロナウイルスの影響で、2月まで留学生の新歓イベントやパーティができなくなってしまい、他の留学生と交流する機会が通常よりも遅れてしまいました。留学初期は友達ができるか不安な日々が続きましたが、今学期は日本人留学生が7人いて、日本語が堪能な現地のスウェーデン人が何人もいるため、私は結構頼りながら生活しています。中には日本人同士で関わるのを避けたいと思っている人もいるので、関わり方は人それぞれで良いと思います。

授業が始まってからは、少しずつですが、クラスでできた友達とダウンタウンのカフェで Fika(スウェーデンのお茶会)したり、寮で一緒にご飯を食べたりできるようになりました。

現地のコロナウイルスの状況について、バスや電車、スーパーではちらほらマスクをつけている人を見かけますが、ほとんどの人はマスクをつけていません。私の周りでもコロナになった人がいるということを度々耳にしますが、全体的に重く捉えている印象はありません。大学でコロナワクチンのブースター接種を行う日があったので、私も3回目を大学で受けました。証明書も現在申請しています。



寮のある地域 Ryd の空



ダウンタウンの街並み

海外派遣留学プログラム報告書 (報告期間：2022/03/05 ~2022/04/30)

1. 勉学の状況

3月前半で2つの授業が終了しました。Introduction to Biosensor Technology と Analog Filters という授業を取っていました。講義や実験、グループワークには参加していたのですが、最終的に授業内容をほぼ理解することができなかつたため、試験を受けないことに決めました。

3月後半から、Written English Communication for Exchange Students と Nordic History of Technology の2つが始まりました。Englishの方は、essay や summary を書く練習をするパートと、事前に読んでおいた文章に対してディスカッションを行うパートがあります。課題の量が多いことと、英語で自分の意見を言わなければいけないというプレッシャーが大変ですが、良い経験になると思います。Nordicの方は、主に北欧のバイキング時代について学んでいます。普段は Linköping で授業を受けていますが、1回だけもう一つのキャンパスのある Norrköping に行きました。また、指定された書籍についてのセミナーもあり、ここでも自分の意見を言う機会があります。期末試験はありませんが、北欧の技術についてのグループワークとプレゼンテーション、授業のまとめの提出があります。また、スウェーデン語の授業も続いています。課題がいくつかあるのですが、スウェーデン人の友達に助けられています。試験は筆記と口頭があります。スウェーデン語を読んで理解することに慣れても、発音が英語と違って話すことが難しいです。これらの授業もあと2週間で終了します。

2. 生活の状況

この期間で最も印象に残っていることは、ESN という大学の学生団体が主催する Overall Inauguration というイベントに参加したことです。簡単に説明すると、オーバーオールを着て、お酒を飲みながら泥まみれになるイベントです。リンショーピン大学では、学部や分野ごとに異なる色のオーバーオールがあります。交換留学生用のオーバーオールもあり、青色です。1着4,000円くらいして高いですが、主にこのイベントや、大学内の施設で開催されるパーティーに来ていくことができます。また、イベントやパーティーで買うことができるワッペンをオーバーオールにつけたり、名前を縫い付けたりすることもできます。Overall Inauguration では、小麦粉やケチャップをかけあつたり泥に飛び込んだりして、思いっきり汚れることができたのでとても楽しかったです。

EAA という、日本語や中国語を学んでいるスウェーデン人やアジア圏の留学生などが、自由に集まって自由に話したり FIKA したりする会が毎週定期的に行われています。気軽に話することができることと、そこでも多くの友達と会えることから、私はよく参加しています。

日本人にとってイースターは馴染みがない行事ですが、スウェーデンでは特別な料理と飲み物でお祝いします。ヤンソンさんの誘惑というジャガイモとアンチョビのグラタンや、ミートボールなどのスウェーデン料理を友達と作りました。また、påskmust というコーラより甘くて炭酸が弱いイースタードリンクを飲みました。スーパーで販売しているお菓子の量り売りを買うことも、イースターの定番だそうです。

4月から、コリドーに引っ越すことができました。今までは大学を通して借りていたのですが、Studentbostäder というところから直接借りることにしたため、より家賃が安くなりました。私のコリドーは交換留学生が少ないみたいなので、比較的静かで落ち着いていると思います。部屋も共有スペースも綺麗だったので安心しました。

スウェーデンの伝統である Valborg という春の到来を祝う行事がありました。Linköpingでは、日中からダウンタウンの広場に大勢の学生が集まり、お酒を飲みながら歌ったり踊ったり話したりして盛り上がっていました。日が沈む頃から夜にかけて、行事の目玉である焚き火を見に行きました。焚き火の周りには学生以外にもたくさんいて、大きな行事であることがよくわかりました。



左上: Overall Inauguration

右上: Easter Dinner

左下: Valborg

海外派遣留学プログラム報告書 (報告期間：2022/05/01 ～2022/06/26)

1. 勉学の状況

5月中旬にスウェーデン語の筆記試験と口頭試験がありました。筆記試験は4時間あり、全学部の受講生が一斉に受けます。基本的には授業で学んだ文章や単語などを復習すれば問題ありませんでした。勉強の成果もあり、スムーズに終わらせることができたので1時間半程で退出することができました。口頭試験は決められた日程の中から都合の合う日を選んで授業ページで登録しました。口頭試験はととても緊張しましたが、先生が陽気で優しい先生だったので、助けてもらいながら課題をこなすことができました。仲の良い友達と同じグループだったのも心強かったです。

Nordic History of Technology のプレゼンテーションでは、北欧の船の歴史をテーマにしました。グループの何人かが役割や方向性を決めてくれて、私は砕氷船について担当することになりました。グループで集まる機会はそのままで多くありませんでしたが、当日の発表後、先生がととても褒めてくださったので安心しました。

2. 生活の状況

授業が終わって時間ができたことで、大学の周りを友達と散歩する機会が増えました。予定がない日でもお昼くらいに突然遊びに誘ってくれる友達がいる日が多かったです。

6月中旬には帰国してしまう友達が多かったため、毎日のようにどこかでお別れ会が開かれていました。私もふらっと立ち寄って一緒に BBQ をしたり、お話をしたり、オーバーオールにメッセージを書いてもらったりしていました。気軽に参加できる雰囲気が好きでした。私が帰国する頃には、寮の周りはずでにととても静かになっていました。

日本へのお土産はスウェーデンの有名なチョコレート KEX と Marabou を大量に買いました。

帰国前にPCR検査を受けなければならなかったもので、Linköping のダウンタウンのクリニックで予約しました。私よりも先に日本に帰国した子が書類の不備で予定通りに帰れなかったと聞き、PCR検査や事前登録などの手続きがととても不安でしたが、無事にトラブルなく帰国することができて良かったです。PCR検査は帰国前日に受けたのですが、72時間前で良いので余裕を持って2日前に受ければ良かったと思いました。

留学初期は不安だらけで純粋に楽しむことができず、時間がととても長く感じられましたが、振り返ってみると、毎日がイベントばかりでとても充実した日々でした。あと半年、留学生活を続けられるのではないかと思うほど、精神的に成長したと思います。良い出会いにもたくさん恵まれて、スウェーデンに留学して良かったと心から思える半年間でした。



Linköping のお気に入りの場所 (パスタ、ジェラート、ピザ)